

IOT Newsletter

テクノロジストたちの「いま」を伝える
ものづくり大学通信

INSTITUTE OF TECHNOLOGISTS

ものづくり大学は、新型コロナウイルス感染症拡大といった緊急事態下において、
在学生の皆さんに、できる限り最高の教育を提供するために一丸となって努力しています。



Vol.
27

2021年11月1日発行

開学 **20**th 記念特別号

Anniversary 2001-2021

たくみ的心

梅原 猛 

初代総長 梅原猛が ものづくり大学にかけた想い

上の書は、初代総長 梅原猛の自筆の書であり、キャンパス内の多目的広場にある銘板にも掲げられています。

梅原総長は、ものづくり大学の設立にあたり、日本の技能と技術の衰えを憂い、ものづくり

の原点に戻り、技能と技術の両方を身につけた人材を養成することが必要だという、高い理想をもっていました。

本学は、単に理論が分かるだけでなく、高度な技術・技能を理解して、ものづくりができ



▲初代総長 梅原猛

る人＝テクノロジストを育成するために、従来の工学系教育とは発想を変え、実習に重きを置いています。「理論」と「実践」が車の両輪のように一体化した教育を行い、ものづくりに心を込める。このように、ものとひと、精神と肉体、理論と実践がそれぞれ一体となった「知行合一」の教育を行うのがものづくり大学です。

(出典、参考文献)
未来を創る力「ものづくり」のすすめ/講談社



▲2009年3月、多目的広場除幕式。右側2列目、右から2人目が梅原総長。

ものづくり大学 IOT Vision Compass 2030

ビジョンコンパス



2020年4月に制定したブランドスローガン

進化する技 深化する知

ものづくり大学における ブランドとは？

2020年4月に制定したブランドスローガンは「進化する技・深化する知」。「技」と「知」は、テクノロジストにとって欠かすことのできない両輪であり、同時にものづくり大学の教育にかけ熱い思いを表わしています。本学では2018年度から、「教育の質向上」「学生の満足度向上」「学び続けることへの意識向上」「大学運営のワンチーム化」などの課題解決を目指し、教職員一丸となったプロジェクトを組織して大学改革に取り組んでいます。特に学修者主体の質の高い教育力の強化を軸に、数々の案件に取り組んできました。2022年度には、総合機械学科の名称を「情報メカトロニクス」と改め、時代のニーズを見据えた最新技術や考え方を学べるようにしました。建設学科では早期に専門性を身につけるようこれまであったコース制を整備し、より高度な学びが得られるようにしました。そのために両学科において新しい科目を配置したカリキュラムの構築や、社会性や倫理観などを広範囲で学ぶことのできる教養教

育の充実も図っています。これには教養教育センターを立ち上げて、組織として検証をしながら運営していきます。また学び直しと言われる社会人教育にも注力していきます。これらの施策によって学生一人ひとりが自らの夢を実現するために挑戦し続けて、社会と共に成長していく。開学20周年を迎えた本学は、常に技術・技能の進化と、知識を深めていくための努力を惜みず、学生や社会に対して「技」と「知」を継続して提供していくことを実践します。本学におけるブランドとは、この実践と理論が一体であるという「知行合一」の追求なのです。

イメージ戦略からの ブランディング活動

本学のブランドスローガン「進化する技・深化する知」を基にして、どのようなアクションを起こしていくのか。そもそも大学におけるブランディングとは、特徴や個性を生かしながら社会の中で大学をよりよく成長させていくという意味が込められています。本学

では、前述した様々なプロジェクト活動を具現化する言葉をブランドスローガンとして、その定着と並行してイメージ向上活動を行ってきました。

それが、ロゴマーク、ロゴタイプ、スクールカラーの刷新でした。ロゴマークは「創造の翼」と銘打ち、未来へ向けたチャレンジと改革を表現しています。ロゴタイプは、誰の目からも視認性の高い書体を用いて、個性的な大学名の知名度・認知度向上を目的としました。スクールカラーは、大学名の由来が古来の大和言葉からきていることを踏まえ、「茜



進化する技・深化する知
ものづくり大学
INSTITUTE OF TECHNOLOGISTS

イメージの刷新をスタートに 実践的教育・研究を推進。 地域社会との連携強化で、 継続的发展・成長を支える大学へ

色」という伝統を重んじ、同時にものづくりの明るい未来を表現する色を選んでいます。公表は、ブランドスローガン同様に、2020年4月でした。強い大学ブランドを築くには、事業活動とブランドスローガンが整合し、首尾一貫している必要があります。このような展開を実現する上で鍵となるのが、「ものづくり大学 ビジョンコンパス2030」です。これは、「教育改革の実践」「研究成果の循環」運営組織の強化」「地域連携の加速」という4つのカテゴリーに大別されます。2030年に向けた大学としてのあるべき姿を明確にし、その実現のための方針や計画を明文化し、様々なステークホルダーの理解を得ていくという活動です。そしてより高度な視点で、それぞれの「進化と深化」から「真価」を高めます。

通信白書」によると、生産年齢人口(15歳から64歳の労働人口)は、2030年には約6,800万人に減少し、これはコロナの影響で早まると予想されています。本学は、今後ますます生産年齢人口が減少する中で、我が国のものづくりを担う若年者への実践的な職業教育の重要性を実感しています。間違えば、我が国の産業基盤が崩壊し、ものづくりを次の世代に継承できなくなってしまうという危機感を持っています。さらに現代は「物質的な豊かさ」がある程度達成された社会とされています。

そしてICT、AI等の登場で働き方も、生活も大きく様変わりをしていきます。現代を生きる私たちは、「役に立つ」ではなく、「意味のある」仕事を作り出していく必要があります。「物質的な豊かさ」ではなく、「精神的な豊かさ」を問うてみたり、単に「労働」ではなく、「社会問題」を解決することに力を注ぐ「活動」というように、「意味」を追求できる力を持った人材が活躍している社会になっていくのだと思います。だからこそ、本学は教育研究の質を向上させていくことが重要だと考えます。そして社会性・倫理性・現場力を身につけたテクノロジストを育成し、今後も社会に輩出し続けたいと願っています。

IOT Vision Compass 2030

教育改革の実践

研究成果の循環

進化する技
深化する知

運営組織の強化

地域連携の加速

ものづくりで未来を支える 「テクノロジスト」を育成する

高齢化や少子化が進むと、労働者人口の減少につながり、総務省の「平成30年版 情報

真価を発揮する

進化する
科学を応用した技術と
その先にある創造的スキル

深化する
知識人としての教養と
体系的な科学の知識

卒業生が
現場の付加価値を最大化する

ブランドスローガンが核となり 継続的发展を目指す

大学の価値を証明するのは、本学を巣立ち、社会活動する学生たちです。開学から20年が経ち、約4000人を超える卒業生を社会に輩出してきました。「テクノロジスト」たちは、いまだのように成長し、どう社会と関わり、自らの幸福を追い求めているのか。自分の持つ能力に対して真価を発揮できる人材育成には、「ビジョンコンパス2030」で掲げた具体的施策の実現です。さらに、本学の持つ教育研究のリソース、就職支援、インターンシップ体験、産業界からの評価など、学外との数多くの密接な関わりの中で、高等教育機関として、「地域社会のために」「産業界のために」約束します。本学が育てるテクノロジストたちは、まさに現場における課題解決に果敢に挑戦し、現場の付加価値を最大化します。ブランドスローガン「進化する技・深化する知」を核に、社会の継続的な発展・成長のために、ものづくり大学は存在していきます。なくてはならない、必要とされるオンリーワンの大学を目指していきます。20年目の評価と21年目からの「発揮される真価」にご期待ください。

IOT HISTORY

2021年、開学20周年!

ものづくり大学の歴史

2001 → 2021

1999.2
財団法人国際技能工芸大学設立準備財団(9月以降ものづくり大学設立準備財団)を文部省が認可

1999.12
大学本部棟、製造棟、建設棟、大学会館 着工



▲竣工時航空写真(2001年)

2001.3
大学本部棟、製造棟、建設棟、大学会館、ドーム、体育館 竣工

2001.4
ものづくり大学 開学

2005.4
ものづくり大学大学院 開学

2009.3
多目的広場 竣工

2010.4
学校法人名称を 学校法人ものづくり大学に変更

2015.11
ドラッカー学会10周年大会をものづくり大学で開催



▲NHK学生ロボコン準優勝(2007年)

1999

2001

2007.6
NHK学生ロボコン 準優勝

2006.9
全日本学生フォーミュラ 初出場

2004.11
ものづくり大学大学院設置を 文部科学大臣が認可

2003.3
中央棟 竣工

2002.6
中央棟 着工

2000.5
ドーム、体育館 着工

2000.12
学校法人国際技能工芸機構設立、ものづくり大学設置を文部大臣が認可



▲10周年記念式典(2011年)

2011.4
学科名称を製造学科、建設学科に変更

2011.10
10周年記念式典、特別公開講座、第3連絡橋開通式、ロゴデザイン制定

2016.6
多目的広場の 補修工事が完了

2016.12
第1回 企業研究交流会 開催(全学年参加)

2012.3
建築家ル・コルビュジエの「カップ・マルタン」の休暇小屋」完成・発表会

2018.4
製造学科の名称を 総合機械学科に変更

千利休 作の茶室「国宝・待庵」を原寸で再現し、森美術館「建築の日本展:その遺伝子のもたらすもの」に展示



▲国宝・待庵を原寸再現(2018年)

2018.11
埼玉純真短期大学、平成国際大学、ものづくり大学の3大学連携協力協定締結

第56回技能五輪全国大会 (家具職種で金賞を獲得。一昨年の建築大工職種、昨年の家具職種に続いて3年連続の快挙。金賞の他、銅賞2名、敢闘賞2名の計5名が入賞)

第22回スターリングテクノロジーで金賞受賞

2017.10
第44回技能五輪国際大会 (アラブ首長国連邦アブダビで開催 建設学科4年生が大工職種の日本代表として出場)

2017.12
更新工事を行った 第2連絡橋の渡り初め



▲技能五輪国際大会(2017年)

2019.1
高校生体験活動総合推進事業「就業体験」における 受入事業所として、埼玉県知事より感謝状授与

2019.3
マンガカープロジェクトチームが日本機械学会 関東支部「貢献賞」を受賞
ものづくり大学・埼玉純真短期大学 共同研究プロジェクト「模擬保育室」 完成お披露目会

2019.5
NHK学生ロボコン 奨励賞受賞

2019.9
ブリッジコンテストで2部門制覇

2019.10
上田惇生名誉教授を偲ぶドラッカーシンポジウム「テクノロジストをめぐって」開催

2019.11
第23回スターリングテクノロジーで 1位・2位・アイデア賞銀賞受賞

2020.2
3大学合同研究発表会を開催

2020.4
開学20周年に向け新ロゴデザイン、タグライン、スクールカラーを制定



2020.10
碧蓮祭(学園祭)初のオンライン開催

2020.11
第58回技能五輪全国大会 (左官職種で金賞を獲得、タイル張り職種で銀賞、建築大工職種・左官職種で銅賞、建築大工職種で敢闘賞。計5名が入賞)
地域交流「彩北未来プロジェクト」締結(10者連携協定)

2021.2
開学20周年記念事業① 「新ロゴデザイン・モニュメント披露式」

2021.3
開学20周年記念事業② 「ミゼットハウス寄贈式」 (石川県羽咋郡/ロイヤルホテル能登)

開学20周年記念事業③
図書情報センターに「IOT INFORMATION GALLERY」を開設

2021.4
開学20周年記念事業④ 「実験住宅披露式」

2021.11
開学20周年記念式典



▲新ロゴデザイン・モニュメント披露式(2021年)

受け継がれる思い

interview
 実行委員長に聞くもの大の学園祭とは

第1回 学園祭実行委員長 倉川 尚志 さん

第21回 碧蓮祭実行委員長 竹内 実 さん

インタビュー 工藤 淳 (学生課学生支援係 係長)

学園祭の始まり

工藤 20年前に学園祭実行委員会を立ち上げた経緯を教えてください。

倉川 大学から9月に入った頃に話があって、夏休み中でも寮にいた学生5、6人で動きだしました。夏休みが終わってすぐに、実行委員会を作って、時間がない中で進めていきました。

工藤 実行委員長にはどういう思いで就任しましたか。

倉川 11月の開催に向けて慌てて準備を始めたので、正直、思いを持つ暇がありませんでした。でも、折角なら、あれやりたい、これやりたいというのはあって。何か目玉が欲しいと思って、大手レコード会社に行って有名アーティストの出演を依頼したり、無謀なこともしました。

工藤 自分達ができることを精一杯という気持ちですね。一回目のテーマにもなっていましたね。「一心不乱」。

倉川 もう、それしかなかったですね。

第21回のテーマは「守破離」

工藤 第21回のテーマは「守破離」ですが、テーマに込めた思いはありますか。

竹内 実行委員の2年生が考えたテーマで、「守」は、教えてもらっていることを忠実に守る。「破」は、人から教えてもらって良いと思ったことを取り入れて良いものを生み出す。「離」は、そこから新しい独自のものを確立させていくということです。

倉川 良い言葉ですね。

工藤 先輩たちがやってきたことを受け継いで、更に自分達で発展させていこうということですね。

竹内 そうですね。先輩と後輩が協力して、過去に経験したことを活かして、自分達で何か新しいことをやっという思いでした。

工藤 *今年度の碧蓮祭は、新型コロナウイルスの影響で残念ながらオンライン開催にな

りましたが、中止ではなく、オンライン開催を決めたのはどうしてですか。

竹内 実行委員の中でも、中止という意見もありましたが、まだやれる事と時間があるというところで、昨年オンラインで開催できたのだから自分達もやろうという思いです。



▲2020年度オンライン企画「遊具王」

感謝の気持ちを込めて

倉川 何のためにやるのか。誰のためにやるのかって考えた方がいいですよ。誰に見せたのかとか。

竹内 オンラインで何をやるかはこれから考えていきますが、そういった事を踏まえて、学生全体で大学が盛り上がるようなものを出していきたいと考えています。

倉川 一つだけ絶対持っておいた方がいいのは、家族や両親に対する感謝です。今の自



▲第19回碧蓮祭(前列右側が竹内さん)

分の姿を両親に届ける気持ちを原点に置いてください。

竹内 今年は両親を呼びたかったのですが…。

倉川 感謝の気持ちを映像で表現することに力を注いだほうが良いですよ。楽しんでる姿を見てもらう気持ちで。この事は、第1回のパンフレットに一言書いていただけ、歴代の実行委員長に話してはるわけではないですが、守破離の「守」のところは必ず親への感謝を込めておいてください。次に教職員への感謝。自分達のことはその後です。

竹内 この話は、どなたかに話したことがありますか。

倉川 前に私の会社に来た学生に、食事をしながら懇々と話しました。普段は言えない感謝の気持ちを行動とか自分達の表現で伝えるんだよって。

工藤 竹内さんは、先輩たちから碧蓮祭への思いを聞いたことはありますか。

竹内 2年前の実行委員長から聞きました。委員長が最初に動いて、一番前に出て話をするような皆を引っ張っていく先輩だったので、私も熱量みたいなものを実行委員長として、表に出して、皆に伝播させていきたいと考えています。

倉川 熱量を表に出せる人と出せない人がいます。でも、それはどっちが良い悪いじゃないから、あまり気にする必要はないと思いますよ。

これからの碧蓮祭について

工藤 これからの碧蓮祭について考えている事はありますか。

竹内 通常の碧蓮祭を1年生の時にしか経験してなくて、自分達で止まっちゃってる気がしています。だから、来年、通常開催できるのであれば、何か一つでも新しい事を後輩たちと一緒にやりたいと思っています。それと、実行委員としてやっているからこそ、深く関わって碧蓮祭の楽しさが分かりますが、もっと楽しく感じる人が増えたらと思います。例えば、学外の友達を呼んで、「あれ俺が作ったんだぜ」とか言えたら、もっと楽しくなると思います。

工藤 倉川さんから後輩に伝えたいことはありますか。

倉川 学生のうちしか経験できないことがあります。できる限り自分の体を使って、足を使って行動してください。そうすれば、誰かがついてくるとは思いますし、人を巻き込むようにやっていくのが良いと思います。

工藤 本日はありがとうございました。



(建設学科3年、千葉 佐倉東高校出身)



(製造技能工芸学科1期生、株式会社倉川製作所代表取締役社長)

20周年記念動画が完成しました!

開学20周年を記念した動画が完成しました。

動画のオープニングでは、2020年4月にロゴマークを変更した際に、学生へのアンケートで集まった大学のキャッチコピーを使い、本学の魅力を伝えています。また本編では、学生たちが研究や課外活動を頑張り、夢を追う姿が映し出されています。この動画は、20周年記念式典で上映されるほか、大学公式YouTubeに公開されます。ぜひ、ご覧ください。

出演した学生の皆さん

総合機械学科

建設学科



3年 荒川龍聖 さん (茨城県 下館工業高校出身)



4年 荒木研究室 丸山颯斗 さん (長野 長野工業高校出身)



3年 小菅昌哉 さん (神奈川 大和南高校出身)



3年 鈴木岳大 さん (兵庫 龍野北高校出身)



4年 永井研究室 中西美颯 さん (埼玉 大宮北高校出身)



4年 永井研究室 村山 諄 さん (福島 郡山北工業高校出身)



4年 大垣研究室 増淵悠希 さん (栃木 宇都宮文星女子高校出身)



4年 岡岡研究室 田中 柚 さん (秋田 横手清陵学院高校出身)

大学公式チャンネルへアクセス!



卒業生の倉川尚志さん(製造技能工芸学科1期生)、伊藤嘉男さん(建設技能工芸学科1期生)にも出演いただきました。



NEWS

20周年式典「盛り上げ隊」について

開学20周年を盛り上げるため、教職員有志により「20周年式典盛り上げ隊」を組織し、20周年式典カウントダウンを始め、様々なイベントを企画しています。新型コロナウイルスの拡大状況により延期になっているものもありますが、今年度中に下記を実施する予定です。

実施予定企画

- ①祝20周年! 20周リレー
- ②オンラインものづくり大学資料館
- ③ものづくり大学からの読み札発表

コロナ禍で残念! 延期になっている20周リレー



同窓会から軽トラックを寄贈いただきました

2021年10月14日、開学20周年を記念して、同窓会から軽トラックを寄贈いただきました。上原同窓会会長は、今回の寄贈について「卒業生から、学生の時に研究活動や引越して物を運ぶ際に車がなくて不便だったという意見があり、学生が使いやすい、公私に役立ててほしい」という思いで軽トラックの寄贈を決めたとのこと。同窓会の皆様、ありがとうございます。教職員・学生一同、大切に使用させていただきます。



開学20周年記念事業募金

皆様のご理解、ご支援に感謝しています!!



2021年4月に開学20周年を迎えた本学は、将来にわたり「社会に貢献する教育研究」や「時代の要請に応える人材の育成」拠点であり続けたいと願い、さらなる教育の質を高め、教育研究の活性化を図っていくため、広く皆様からのご支援を募る「ものづくり大学開学20周年記念事業募金」を設定いたしました。趣旨をご理解いただき、ご支援ご協力の程お願い申し上げます。

※本学同窓会より記念寄贈がありました。詳細は7頁。

ご寄付の目的

- 教育研究設備の高度化 ●既存施設・設備の更新 ●人材育成への投資

募金制度の概要

- 募金名称 開学20周年記念事業募金
- 募金目的 魅力ある大学を目指すために、時代に即した新しい研究設備の導入や既存設備の更新などを行い、社会の求める人材の育成を図る。
- 募金目標額 1億円
- 募金期間 2021年6月1日～2023年12月31日
- 寄付金額 法人・団体：一口10万円以上、個人：一口1万円以上
※但し、金額にかかわらずありがたくお受けいたします。



ご寄付のお申込み・お払込みの流れ

ご寄付のお申込みやその他詳細につきましては、開学20周年記念事業募金サイトをご覧ください。

<https://www.iod.ac.jp/20th/donation.html>



INFO.

20周年 特別限定グッズ

開学20周年を記念して、周年ロゴマークを使用した特別限定グッズ「MONODAI Tシャツ」、「MONOパン」を発売しています。学外の方もWebからお申込み、郵送可能です。この機会にぜひ!

オリジナルグッズ
申込みフォームQR



公式サイト



公式SNS



〒361-0038 埼玉県行田市前谷333番地
[E-mail] koho@iod.ac.jp
[TEL] 048-564-3906 [FAX] 048-564-3507

発行人: 赤松 明
編集: ものづくり大学総務課広報地域交流係